

平成28年度第1回（被服学、美術・デザイン）グループ合同委員会議事概要
被服学教育FD/ICT活用研究委員会
CCC美術・デザイングループ運営委員会

- I. 日 時 : 平成28年8月31日(水) 15:00~17:00
II. 場 所 : 公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局
III. 出席者 : 被服学教育FD/ICT活用研究委員会 阿部委員長、倉委員、石原委員、
CCC美術・デザイングループ運営委員会 有馬委員、久原委員、井澤委員、
宮田委員(スカイプ参加)
事務局 井端事務局長、森下主幹、中村事務局員

IV. 議事概要

1. 報告・検討の概要

(1) 平成27年度の事業報告

事業報告書により、昨年度開催の分野別アクティブ・ラーニング対話集会の開催結果が報告された。

被服学・美術デザイン学グループ

- ・ 昨年度は12月と2月の2回委員会を開催し、3月に28名が参加して対話集会を実施した。
- ・ 話題提供は以下の3件を行った
 - ① 大学間・地域連携ワークショップの運営による学生参加型授業
 - ② 知識の統合を目指した学生主体の「アートキャンプ」によるアクティブ・ラーニングの提案
 - ③ 学生が企画・運営するPBL型演習授業「ファッションショー」の提案
- ・ 対話集会で確認された主な意見は以下の通り

アクティブ・ラーニングのテーマ

- ① 地域社会や企業と連携したアクティブ・ラーニングは、学習意欲を向上させ知識の定着と応用力に結びつく。
- ② 体験型授業では外部評価を受けることで振り返りに効果があるが、その際、企業や社会との連携によりモチベーション向上の必要性に気づかせる工夫が重要である。
- ③ 被服、美術・デザイン等の実技科目では、ルーブリック評価、ピア評価、外部の評価など総合的な評価が重要である。

教学マネジメントのテーマ

- ① 産業界や社会・地域と連携した体験型授業の実施では、教員の大きな負担とならない様、大学に組織的体制を構築するなどの支援が必要である。

(2) 平成28年度の活動計画について

平成28年度は、「ICTの利活用を含むアクティブ・ラーニングの教育・学修方法と教学マネジメントの改善対策を研究するため、継続して分野連携による対話集会を実施することとし、特に体験事例から成功・失敗の原因と対策を整理するとともに、分野の壁を越えて知識を組み合わせる創造型教育の必要性、授業科目の統合化などの課題について理解の促進を図ることが確認された。

また、対話集会の運営方針では、教員も学生と共に学び伴走する「半教半学の精神」で意識を変え、知識伝達授業からアクティブ・ラーニングへ転換していくことが確認された。

2. 本年度の進め方、話題提供・意見交換テーマなどについての主な意見

以上の方針を確認した後にフリーディスカッションで本年度の対話集会の進め方、話題提供・意見

交換のテーマなどについて検討した。主な意見は以下の通り。

主な意見

- ・テクニカルではなく、探求すべきテーマについて議論すべきで、提案型の形でも良いのではないか。
- ・「知識と技能を組み合わせて問題を解決する力を育むため、大学は学生に新しい学びの場を作れないか」を議論する場ではないか。
- ・被服と美術だけでなくもっと他の分野とも連携する必要があるのではないか。
- ・資格試験や試験制度の中で作られてきた教育から、他の分野との連携が必要になってきており、分野の異なる教員が連携し新しい学びの工夫を考えることが良いのではないか。
- ・昨年の学生参加型アクティブ・ラーニングのように、学生が教員と一緒に授業をつくることは素晴らしい。考えていた以上に学生が成長したことを感じた。
- ・美術系からは、他の学系と合同で1年から4年までの学年間連携で「制作やプレゼンテーションをビデオ収録し、eポートフォリオと組み合わせて学修成果を可視化し内部質保証する試み」、「映像・デザイン・ファッションを融合させた学科横断授業の試み」に取り組まれている事例が紹介された。
- ・芸術系の、映像、デザイン、ファッションの1年生と2年生をシャッフルしたチームによる学年間連携共同制作の実験的事例が紹介された。学生自身が地域と係わるテーマなどを自由に決めて取り組んでおり、学生同士の教え合い、学び合いと、学科横断授業の方向に向かっている言えるのではないか。
- ・対話集会において、参加した教員同士が学び合い発表してもらった提案には、良い提案だが、アクティブ・ラーニングを理解していない教員には抵抗があるのではないかと意見が出された。
- ・学生を参加型のアクティブ・ラーニングを考えて良いのではないか。
- ・分野を越えた学び合いが、教員間連携や大学間連携で提案できないか。
- ・被服からも話題提供が欲しい。

3. 対話集会のテーマ、話題提供について

- ・美術系から「制作やプレゼンテーションをビデオ収録し、eポートフォリオと組み合わせて学修成果を可視化し内部質保証する試み」と、「映像・デザイン・ファッションを融合させた学科横断型授業の試み」が挙がり、次回委員会で整理することとなった。
- ・被服学には引き続き他のテーマ、話題提供について検討いただくこととなった。
- ・話題提供では、実験的な試み段階であるものは「提案型の報告」としてもらって良い。
- ・1年生と2年生のチームによる共同制作の事例については、3年生での取り組みについて調べてもらう。

次回の委員会までに各委員は、対話集会のテーマと話題提供について更なる検討をいただき、他のテーマ、話題提供についてもぜひご提案をお願いいたします。

4. 今後のスケジュール、次回合同委員会

今後のスケジュールは、第2回目の委員会を9月後半から10月に開催し、11月から12月に対話集会を実施。

各委員に日程の都合を伺い、第2回合同委員会を「9月29日(木)18時」に開催することとなった。

(開催場所：私立大学情報教育協会 事務局)